

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7~R9	茨城県鉾田市 (鉾田市鳥獣被害防止対策協議会)	イノシシ、中型獣類、鳥類（カラス）	◎	○	—	○

事業概要

- ・既に活用している捕獲通知機器に対し、より電波受信範囲が広いとされる機器の導入実証を実施
- ・ドローンを活用し、イノシシの目撃、被害、捕獲があったエリアで広範囲かつ安全な生息調査を実施。更にAI診断による生息域や行動パターンのデータを捕獲に活用
- ・カラスの追払い対策として音波発信機の実証を行い、効果が期待できれば更に獣類用の導入を検討

【イメージ】

捕獲通知機器



実際の捕獲現場



【データの利用イメージ】

ほかパト全体図



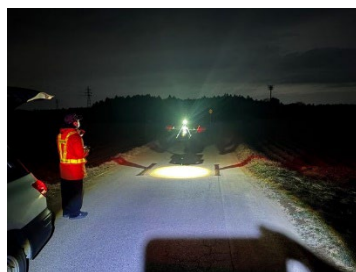
ほかパトリスト

状態	バッテリー	最終捕獲日
稼働	8.5	2025-12-17 03:01:31
稼働	8.5	
稼働	8.5	
稼働	8.5	2025-12-25 14:59:24
捕獲	8.5	2025-12-30 13:11:43
稼働	8.5	2026-01-03 15:34:44
稼働	8.5	2025-12-02 09:58:59

生息調査



ドローン



ドローン撮影図



ドローン撮影結果の立体図



	R7年度実績	次年度以降実施予定
<p>実証内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 無線式捕獲機器93台（ほかパト）を導入し、猟友会に配付（10月・3月）。捕獲の連絡がメールで携帯電話に入るため、見回りの労力が削減された。また、市内で活用していた従来機と違い、web上で市内全体のわなの設置状況を確認できるため、捕獲者間の罠の設置位置の重複が避けられ、効率化につながった。更に、これまでは、わなの設置者が旅行や入院で不在の際には、見回りができなくなることからわなを外していたが、わなの位置情報の共有と見回り労力の削減により、他の猟友会員にわなの管理を頼みやすくなる利点が生じた。 ドローンによる鳥獣の生息地域調査（7地区）を見晴らしの良い冬季（夜間）に実施。成果は次年度の捕獲に活用するため、猟友会に共有（3月）。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="319 708 696 1142"> </div> <div data-bbox="803 708 1131 1142"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p data-bbox="368 1150 634 1179">ほかパトデータの活用</p> <p data-bbox="830 1150 1089 1179">ドローンデータの活用</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> わなの数（300基）に対し、ほかパトの数が足りていないことから、見回り回数の軽減の検証とあわせて、ほかパトありなしの利便性について更に検証する。 ドローンで得た生息情報を活用し、イノシシの多い場所にわなを設置し、効果的な捕獲につなげる。 1年目でドローン調査した地区から重点地区を選定し、1年目と同時期に再度調査を行い、生息数の変化を検証する。また、目撃情報の少ない市北部の調査を行う。 捕獲通知機器の位置情報と連動可能かつ住民も利用可能な捕獲通報システムを整備し、地域ぐるみの対策の強化と事務手続きの簡素化を図る。 カラスの追払いについての有効性（被害の減少につながるか）を検討する。 R6年度からR7年度にかけてイノシシ（49頭→124頭）やアライグマ（113頭→144頭）の捕獲数が増加しているため、鳥獣の目撃・被害状況等の整理やICT機器の導入を含め対策を強化。
<p>導入機器 ※交付金活用外の機器を含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> 無線式捕獲機器ほかパト（アイエスイー）親機2台・子機93台 みまわローラ親機・子機（R8.3サービス終了） ドローンによる生息調査委託（スカイシーカー） 	<ul style="list-style-type: none"> 無線式捕獲機器の追加購入 ドローンによる生息地域調査 捕獲通報システム整備